



今月は鳥、とり・・・

日差しが強くなってきましたね。水辺が恋しい季節になりました。暑い季節には鳥たちはどうしてるのかしら？水浴びをしている鳥たちも気持ちよさそう～今月の絵本館だよりは鳥をテーマにおおくりします。

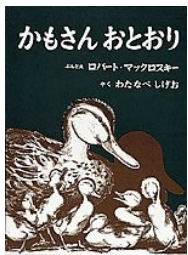
★ 数 え ま す ★



『カモさん、なんわ?』シャーロット・ポメランツ：文 ホセ・アルエゴ&アリアンヌ・デュイー：絵
こみやゆう：訳 徳間書店

ふくろう君は草場から出てくるカモさんを一生懸命数えます。数え方を間違ってしまったふくろう君はおばあちゃんに正しいやり方を教えてもらい、数えるのが楽しくなってきました。もっとも数えたいと思っていたのですが、おばあちゃんは疲れてしまい、おうちに帰ろうと言います。そこで、ふくろう君はおうちに帰っても数えられるものを発見しました！

★ はや～い ★



『かもさん おとおり』ロバート・マックロスキー：文と絵 わたなべしげお：訳 福音館書店

出産を控えたマラード夫妻の子育ての場所探しから、生まれた八羽のコガモたちとの行進をするまでが描かれた作品です。八羽のカモたちには、ちゃんと一羽ずつに名前がついているんですよ。私はよくこの作品を子どもたちに読みます。読んでみると、どんどん楽しくなって八羽のコガモたちの名前を読むときには、つい早口になってしまって、子どもたちに「はや～い」ってお叱りを受けます。

★ 賢くなれますように ★



『がちょうのペチューニア』ロジャーデュボアザン：作 まつおかきょうこ：訳 富山房

おバカながちょうのペチューニアが本を拾ったところから、大騒動が始まります。農園の仲間たちは、ペチューニアのことを馬鹿にしているのですが、どうも本を拾ってからのペチューニアの様子が違って来たように見えたのです。そう、賢そうに見えるではありませんか！困りごとはペチューニアに相談して解決してもらおうことになるのですが、どうも・・・みんながとっても良い解決だ！と思ってくれるような解決には見えません。でも、お話の終わりには、おバカなペチューニアが賢くなったように思うのは、私だけでしょうか。まずはお話を読んでみてからのご感想をお聞かせください。

★ ふくろうの生活 ★



『かあさん ふくろう』イーディス・サッチャー・ハード：作 クレメント・ハード：絵
おびかゆうこ：訳 偕成社

ふくろうの生活を美しい絵と文章で描かれた作品です。狩りの場面はやはり残酷ではあるものの、絵で表現されているので、幼い子にもそれほどのショックにはならず、むしろ生き物の営みを自然な形で納得できる作品です。